

小笠原ぼたんガイド

本丸庭園内の「小笠原ぼたん」は 5 月 10 日前後に白い花を付けます。この「小笠原ぼたん」の説明をします。



2007・5・10 小笠原ぼたん

天文 19 年（1550）武田氏は林城の小笠原長時を攻めこれを自落させますが、小笠原長時は自分の愛でてきた「白ぼたん」が武田の兵に踏まれるのを心良しとせず、祈願所であった山辺の兎川寺（とせんじ）の住職にその株を託して落ち延びたといわれています。以来、その「ぼたん」を兎川寺檀家の久根下家が「殿様の白ぼたん」として秘して守り続けてきたといえます。昭和 35 年、小笠原長時から 16 代目に当たる小笠原忠統（だだむね）氏が松本図書館長をされていました。そこへ、久根下家の子孫、久根下栄一氏がぼたんの株をたずさえて訪ねました。400 余年の間、白ぼたんを守り続けてきた経緯を聞いた忠統氏が感激して、これを松本城本丸庭園に植えました。これが月見櫓前の「小笠原ぼたん」です。

昭和 40 年 5 月 29 日付「九州新聞」6 月 5 日付「西日本新聞」は小笠原ぼたんが松本城から株分けされ、2 株が九州「小倉城内歳時記園」に植えられたことを報じています。（小笠氏は、松本城から明石へ移り、寛永 9 年にはさらに小倉城主として九州の地に移っています。）

また昭和 58 年、小笠原家ゆかりの福岡県京都郡富津町の峯高寺の檀徒が松本城をおとずれた際、松本城管理事務所長に住職が株分けを願い、昭和 60 年 10 月 8 日国宝松本城解体修理 30 周年記念式典のおり小笠原ぼたんの贈呈式が行なわれました。和合市長より目録が贈られました。ぼたんの苗は、昭和 62 年 11 月峯高寺に送られ植えられましたが 3 年後に枯れてしまいました。平成 8 年 11 月有賀市長のはからいで再度苗が送られ現在に至っているそうです。（写真左下 峯高寺に咲く小笠原ぼたん）



花をつけた小笠原ボタンを見守る村上住職



松本城に植えられた小笠原ぼたんは3本となり毎年咲き続けてきました。小笠原ぼたんの名が知れわたり、何人もの方々から家にも小笠原のぼたんがあるといって寄贈を受けました。松本城管理事務所は久根下栄一氏から小笠原忠統氏へ贈られた株およびそれから株分けされ系統の株と、後に色々な人から寄贈を受けた株を分けて植えています。右上の写真で消火栓前に植えられているものが色々な方々から寄贈を受けた株です。したがって「小笠原ぼたん」という場合は月見櫓前の案内板のある所の白ぼたんを指していますので間違いのないようにお願いします。



(2008年3月21日)

2006年10月13日、久根下栄一氏の御好意により新たに3株の小笠原ぼたんが寄贈されました。2007年3株は根付いたように見えてましたが8月の暑さと乾きから一株が枯れました。そのため**2007年10月12日**、ふたたび2株の小笠原ぼたん株を御寄贈を頂きました。

したがって現在、久根下栄一氏系の**小笠原ぼたんは全部で7株です。**

一家よりの小笠原牡丹は7株である。